富士写真フイルム株式会社

東京都港区西麻布２－26－30　〒106

お問合わせ先　フジカ製品の使い方、あるいは性能、点検、修理などのお問合わせは下記をご利用ください。

フジカ サービス ステーション

ショールーム・富士フォトサロン

東京都中央区銀座５－１先　スキヤ橋ショッピングセンター　〒104	TEL東京(03)571－9411
横浜市中区相生町４－69　和孝ビル（2F）横浜フジカサービス　〒231	TEL横浜(045)662－2231
札幌市中央区北２条西４丁目　札幌三井ビル別館(3F)　〒060	TEL札幌(011)241－7161
新潟市河渡丁70－１　新潟フジカラー現像所内　〒950	TEL新潟(0252)47－1341
仙台市本町２－10－33　第２日本オフィスビル　富士フイルム仙台出張所内　〒980	TEL仙台(0222)21－2601
名古屋市中区栄２－10－19　商工会議所ビル　富士フイルム名古屋出張所内　〒460	TEL名古屋(052)221－6181
大阪市東区備後町４－15　富士フイルム大阪支社内　〒541	TEL大阪(06)203－5212
岡山市中山下町１－２－36－201号　有森ビル(2F)　〒700	TEL岡山(0862)23－4876
金沢市堀川町５－10　堀川ビル内　〒920	TEL金沢(0762)63－0033
広島市大手町２－11－15　新大手町ビル　富士フイルム広島出張所内　〒730	TEL広島(0822)48－0281
高知市日の出町158　高知現像所内　〒780	TEL高知(0888)５－7783
福岡市中央区天神１－14－１　日本生命ビル　富士フイルム福岡出張所内　〒810	TEL福岡(092)74－0231

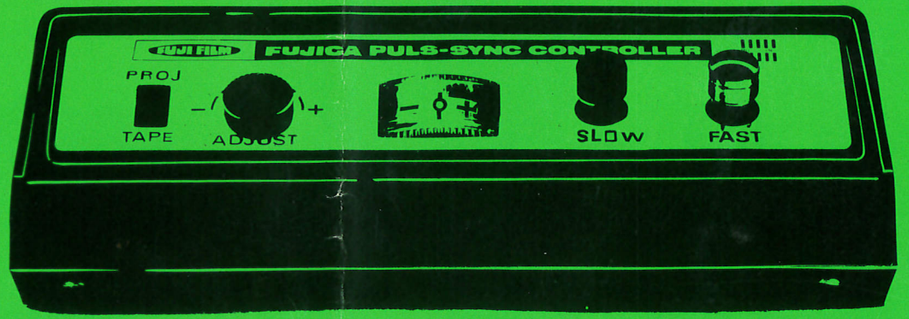
東京本社インフォメーションセンター　東京都港区西麻布２－26－30　〒106　TEL東京(03)406－2590

宣匠-73. 7-MB・2.5-4 ①

FUJICA PULS-SYNC CONTROLLER

FUJI FILM

フジカ　パルスシンクコントローラー の使い方

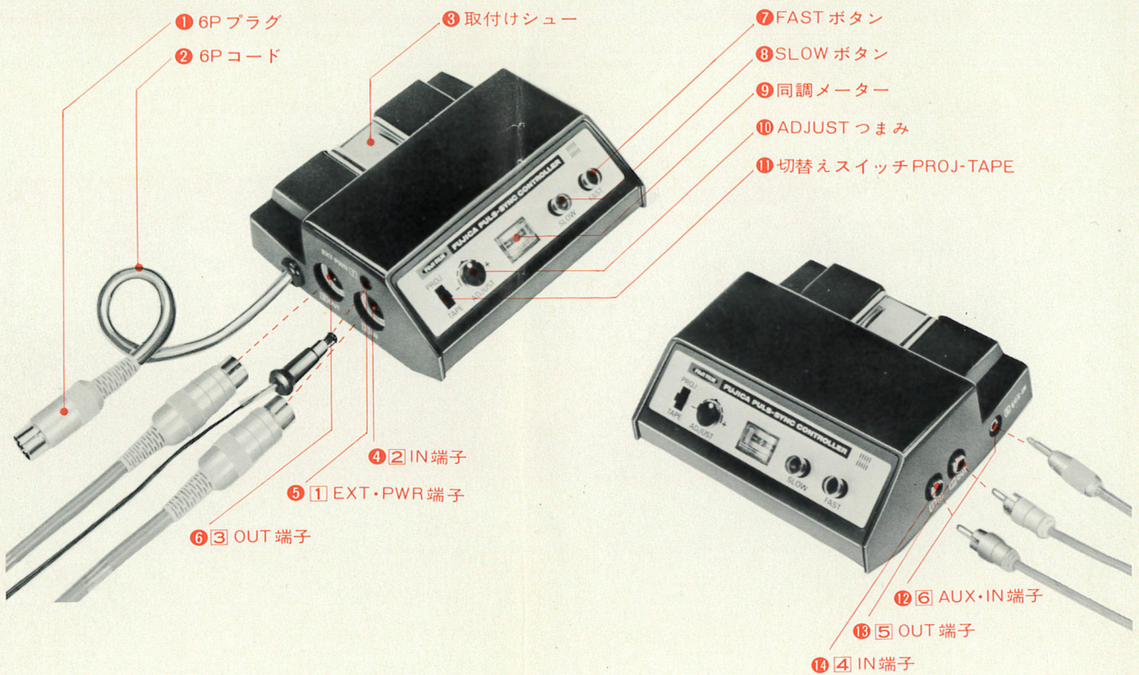


フジカ パルスシンクコントローラーをお買上げいただきありがとうございました。本機はパルスシンクシステムのコントローラーで、パルスにより映写機を制御し完全なリップシンクロサウンド映写を行なったり、アフレコ、RE-REC に使用します。内容をよくご理解のうえご使用ください。

フジカ パルスシンクシステムの詳細については、別冊の「フジカ パルスシンクシステム」の説明書をご覧ください。

PULS-SYNC

各部の名称



特　長

1. フジカ パルスシンクコーダー、パルスシンクボックス、一般ステレオテレコより再生されるパルスにより、フジカスコープMX-70の速度を制御し、完全な同期映写を行ないます。
2. パルスシンクコーダー、パルスシンクボックス、一般ステレオテレコに、フジカスコープMX-70から発生するパルスを送出します。
3. パルスシンクコーダー、パルスシンクボックス、一般ステレオテレコからのパルスを整形し、リレコ用として送出します。
4. FAST、SLOW のボタンにより同調のズレが簡単に補正できます。（ 補正コマ数を同調メーターの針の振れでカウントできます ）
なお同調メーター、FAST、SLOWボタンは暗い部屋でも見やすくなっております。
5. 同調メーター、ADJUSTつまみで常に最良の状態で同期映写ができます。

諸　元

装　　着：MX-70底部アクセサリーシューに取付け可能。

同調メーター：同調メーター、ADJUSTつまみで最適同調可能。

同 調 補 正：SLOW、FASTボタンにより補正可能。

映写機制御：Ⓐパルスシンクコーダー、Ⓑパルスシンクボックス、Ⓒステレオテレコの同期信号を受けMX-70を制御。

信号の録音：MX-70よりの信号を受け上記ⒶⒷⒸに信号を録音可能。

信号のリレコ：上記ⒶⒷⒸよりの同期信号を別の上記ⒶⒷⒸにRE-REC 可能。

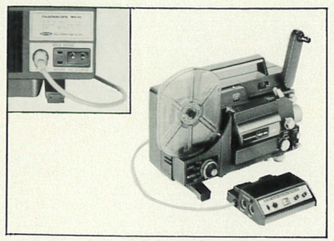
入 力 端 子：①パルスシンクコーダー、パルスシンクボックス用。
DIN8P 1KHz変調波　100mV（標準）
②ステレオテレコ用　ピンジャック　1,000Hz変調波
0.775V（標準）
③AUX・IN ミニジャック　単位パルス　150mV（標準）

出 力 端 子：①パルスシンクコーダー、パルスシンクボックス用
DIN8P ON-OFF信号。
②ステレオテレコ用　ピンジャック1.000Hz変調波。
0.775V
③パルスシンクコーダー用電源　DC7V

寸　　法：47×134×125mm

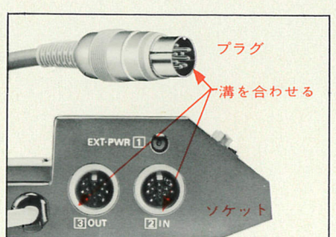
重　　量：500g

使い方



1. 映写機への取付け

パルスシンク用のフジカスコープMX-70の底部（リール収納ケース部）にあるシューにコントローラーの取付けシュー③をはめ込んでください。なお、映写機からはなして使用することもできます。



2. コードの接続

６Ｐプラグ①を映写機背部のSYNCソケットに溝を合わせて押込んでください。

映写機へのＡＣコードを電源に差込むとコントローラーの同調メーター⑨にランプが点灯します。

3. 各端子の機能と使い方

(1) 1EXT·PWR⑤

フジカパルスシンクコーダー（同録専用カセットテレコ）を長時間使用する場合、コーダー付属のPOWERコードで、この端子とコーダー側のEXT·PWR端子を接続します。電源はコントローラーから供給され電池の消耗が防げます。

(2) 2IN④

パルスシンクコーダー、パルスシンクボックスで映写機を制御するときの入力端子です。専用のDIN 8Pコードで接続します。

(3) 3OUT⑥

パルスシンクコーダー、パルスシンクボックスにパルス録音をするとき使用します。切替えスイッチ⑪により映写機から発生するパルス（1パルス／1コマ）の録音や2IN、4INから入ったパルスを整形して録音することができます。3OUTへの接続は専用のDIN8Pコードで行ないます。

(4) 4IN⑭

一般のステレオテレコを使用して映写機を制御するときの入力端子です。入力信号は1000Hz 変調波 0dBm＝0.775Vが標準です。 テストのうえ適当なレベルで入れてください。接続はピンプラグで行ないます。

(5) 5OUT⑬

一般のステレオテレコにパルス録音するとき使用します。切替えスイッチ⑪により、映写機から発生するパルス（1パルス／1コマ）の録音や2IN、4INから入ったパルスを整形して録音することができます。出力信号は1000Hz変調波 0dBm＝0.775Vが出ておりますので、録音のときレベルを調整して録音してください。

(6) 6AUX·IN⑫

1000Hz変調波でない単純パルスの録音されたテープを制御する場合の入力端子で、パルスシンクボックスと組合せて使用します。パルスシンクボックスの補助出力ジャック（AUX·OUT）とコントローラーの6AUX·INを両端ミニプラグのコード（市販品）で接続します。

4. 切替えスイッチの使い方

切替えスイッチ⑪は映写機からのパルスをテープに録音する場合のみPROJ側に、他の場合はTAPE側にしてください。

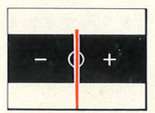
5. 同期調整の方法

各使用項目に応じて接続し、テープ、フィルムを駆動させ、同調メーター⑨の針が中央０点にくるようにADJUSTつまみ⑩をまわして調整してください。中央に針がこない場合でも指針が大きく振れなければ同期しています。

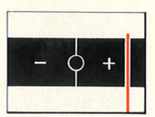
6. 画面と音が合っていない場合の調整

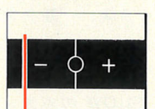
画面が進んでいる場合はSLOWボタン⑧、遅れている場合はFASTボタン⑦を押してください。このとき、同調メーターの針が振れますが、１往復につき１コマの補正に相当します。

同調メーター

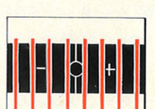


同期している





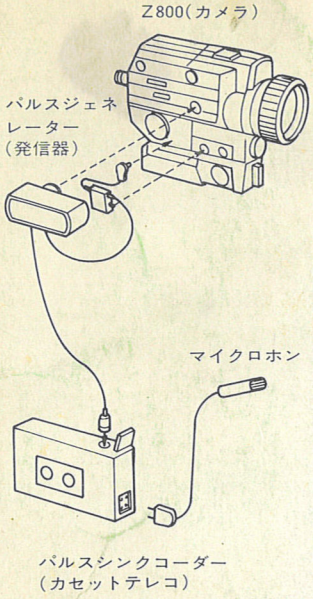
同期しているが、中央０点に針がくるように調整



同期していない

PULS-SYNC

フジカパルスシンク同時録音撮影のポイント



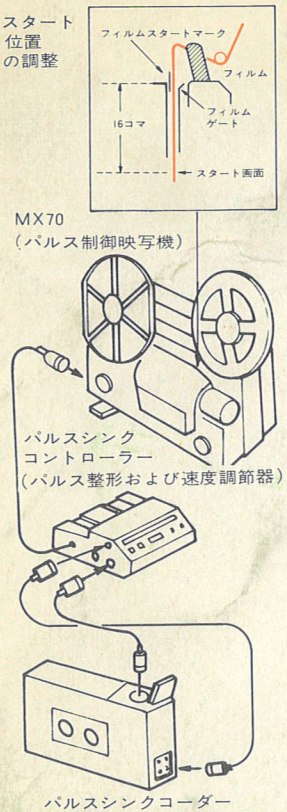
項目	操作のポイント
❶ 撮影準備	
❶ カメラの準備	❶パルスジェネレーター用ストッパーの取付け ❷コマ速度は18コマにセット。レリーズレバーはRにセット ❸シンクロカプラー部のふたを取る
❷ パルスジェネレーターの取付け	❶回転部の切欠きを指標線に合わせて取付け ❷3Pプラグ→録音ソケットへ ❸ミニプラグ→リモコンソケットへ
❸ パルスシンクコーダーの準備	❶バッテリーチェック→PLAYで指針が赤範囲ならOK ❷録音レベルはALC(オート)に ❸マイクロホンおよびイヤホンを接続 ❹パルスジェネレーターのシンクコードを接続 ❺空送りしたテープを装塡(約20㎝鉛筆等で送る) ❻再生レバー→PLAY，録音レバー→RECにセット
❷ 撮影開始前に	
❶ フィルムの装てん	❶マガジン ポン！
❷ フィルムの空送り	❶レンズキャップをかぶせ、パルスシンクコーダーの一時停止ボタンを押しながらフィルムを約2～3秒空送りす。(未露光で)
撮影準備完了	
❸ 撮影開始	
	❶シャッターボタンを押すと同時録音撮影開始
❹ 撮影終了	
❶ フィルムの終了と巻取り	❶ファインダーの視野が赤くなったら撮影を止める ❷レンズキャップをかぶせ、フィルムを全部巻取る(パルスシンクコーダーの一時停止ボタンを押しながら)

FUJI FILM
富士写真フイルム株式会社
東京都港区西麻布2－26－30 〒106

宣匠-73. 2-MB・2.7-2(0)

PULS-SYNC

——フジカパルスシンク同期映写のポイント——



項　目	操作のポイント
❶ 映写準備	
❶ 映写機の準備	❶映写機を電源に接続する ❷位置をきめ、ピントを合わせる。
❶ パルスシンクコントローラーの取付け	❶映写機のシューに差込む ❷映写機のSYNCソケットに6Pプラグを接続 ❸切替えスイッチをTAPE側に ❹アジャストノブを中央の0点にセット
❷ パルスシンクコーダーの準備	❶SYNCソケットとコントローラーの2 INにシンクロ(8P)コードを接続 ❷EXT PWRとコントローラーの1 EXT PWRにパワーコードを接続 ❸テープをセット（完全に巻戻しておく） ❹音量を適当にセット
❸ フィルムのスタート位置調節（映写機）	❶フィルムにスタートマークを付ける（最初の画面より16コマ目） ❷映写機にフィルムを装てんしてNORMAL(FWD)でマークの近くまで送る ❸STILLでIMボタンを押しながらスタートマークをゲート入口に正確に合せる
❹ 映写機ダイヤルのセット	❶スピード調節ノブを引きSYNC(赤)にする ❷操作スイッチ → LAMP Lo にセット ❸スピードセレクター →（FWD）NORMALにセット
映写準備完了	
❷ 映写開始	
❶ テープのスタート	パルスシンクコーダーの再生レバーをPLAYに。
❷ 映写（自動スタート）	❶テープのパルスにより自動的に同期映写開始 ❷同調メーター0点に調節 ❸画面と音声のズレはFAST. SLOWボタンで調整
❸ 映写終了	
	❶パルスの終了で映写機は自動停止 ❷パルスシンクコーダーをストップさせる ❸REWにしてテープを巻戻す ❹映写機のスピード調節ノブを押込む→MANUAL ❺REVにしてフィルムを巻戻す